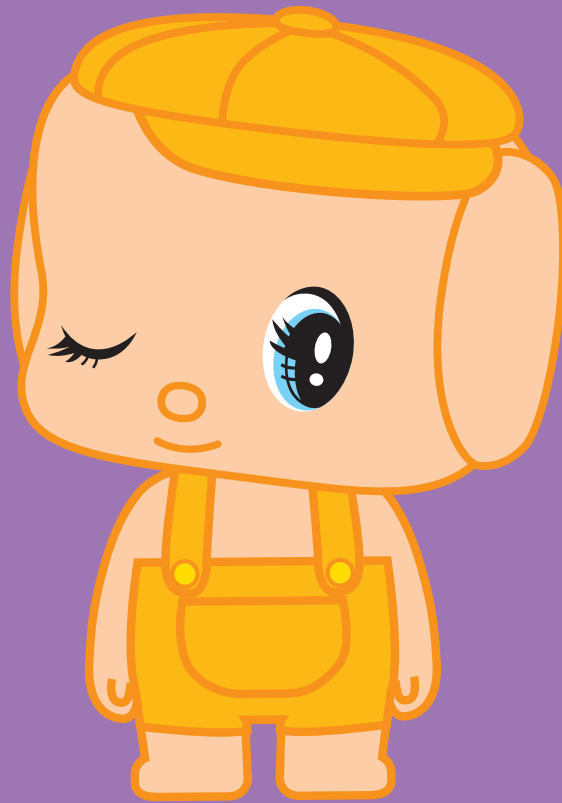
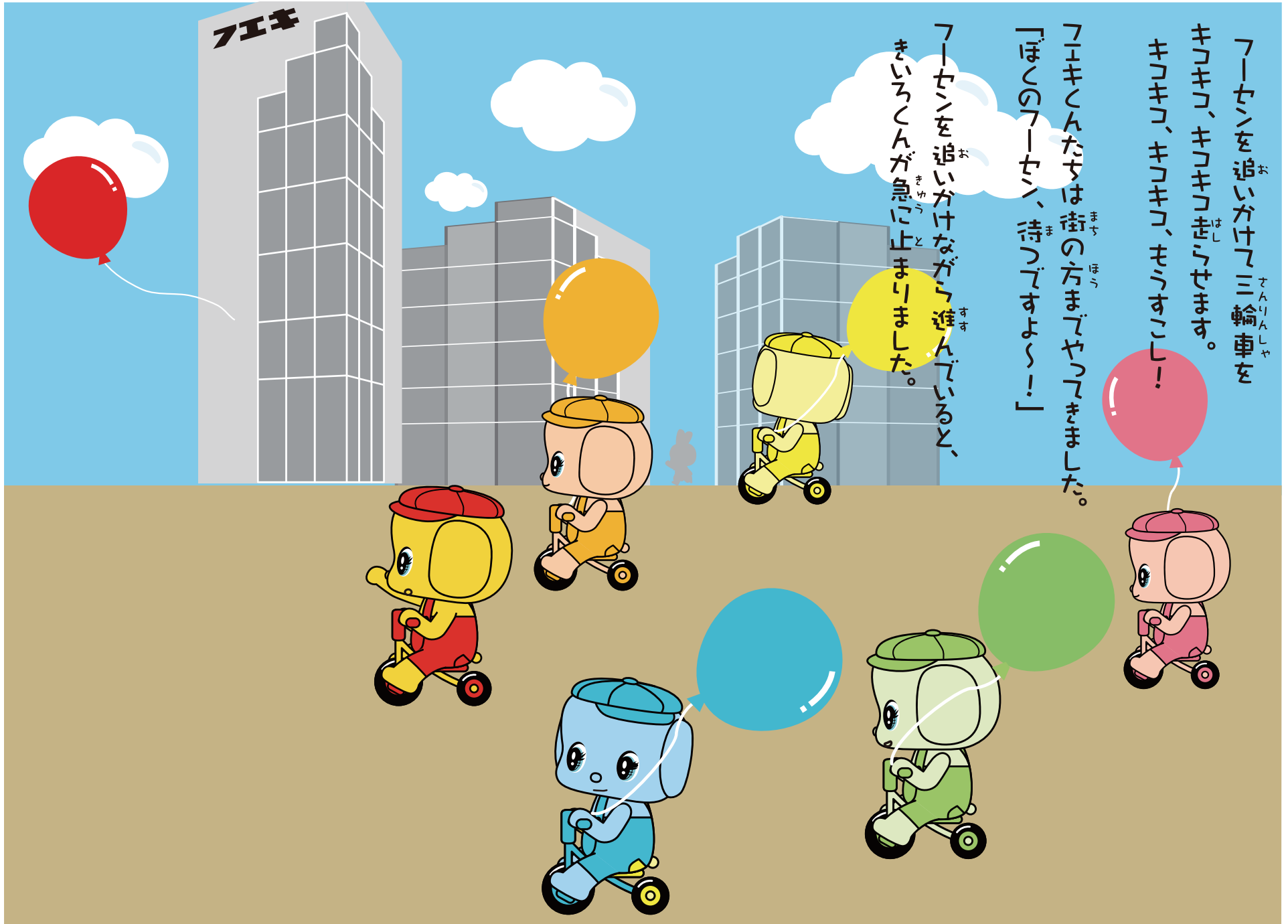


フエキくんのおはなし④



きぶんをかえるまほうですよ!



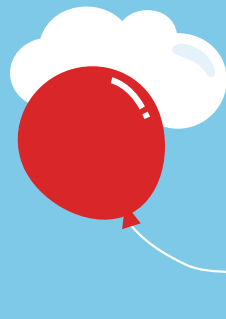
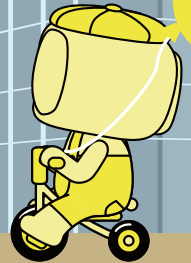
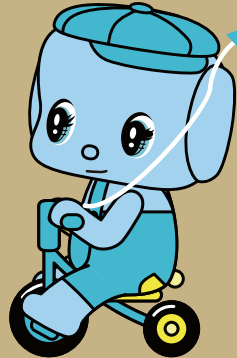
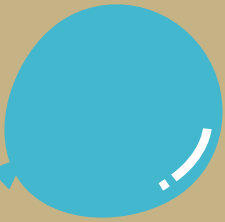
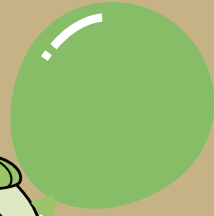
アイキ

フォーカンを追いかけて三輪車を  
キョキョ、キョキョ走ります。  
キョキョ、キョキョ、もうすのこー！

アイキくんたちは街の方までやってきました。  
「ほのフォーカン、待ってすよー！」

フォーカンを追いかけていると、  
ましろくんが急に止まりました。

進んでいると、



「きいろくん、どろしたのっ。」  
「あ、なんも何か追いかけてるみたい。」

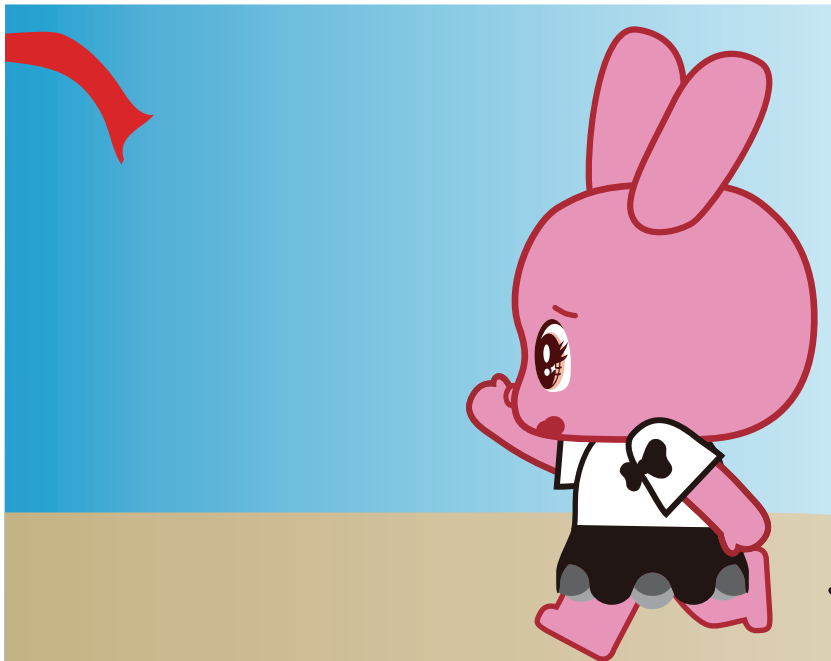
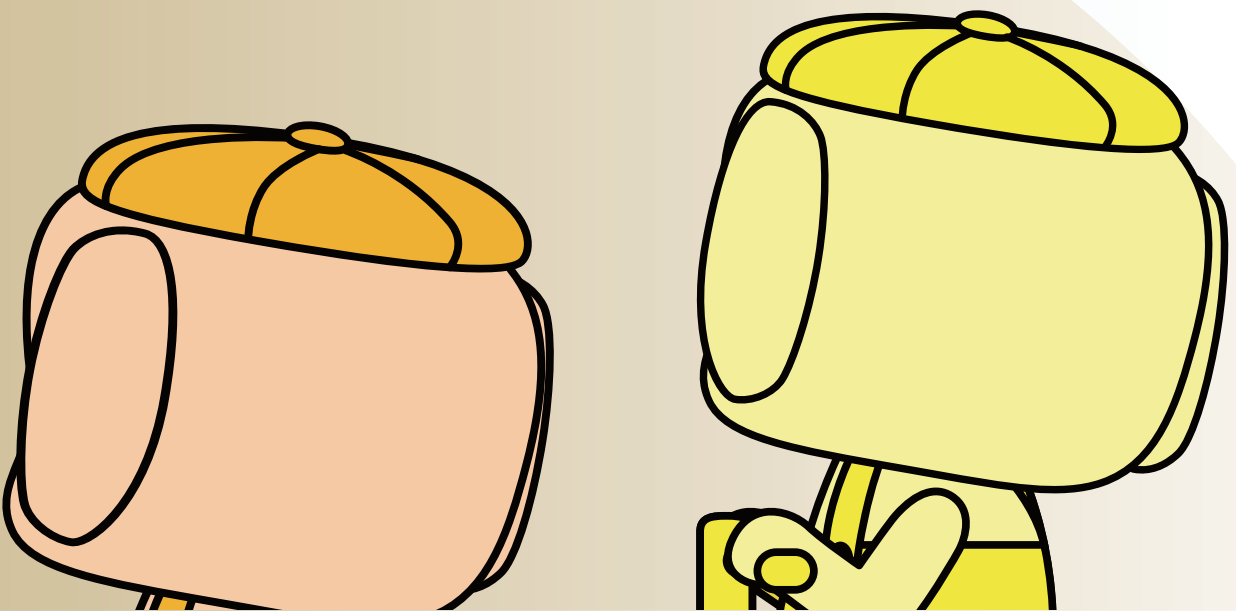
きいろくんが見ているほうを向くと、  
その向いたのはウサギさんでした。

「ウサギさん、ウサギさん。  
どろしたのっ？」と、フエキくんたず。

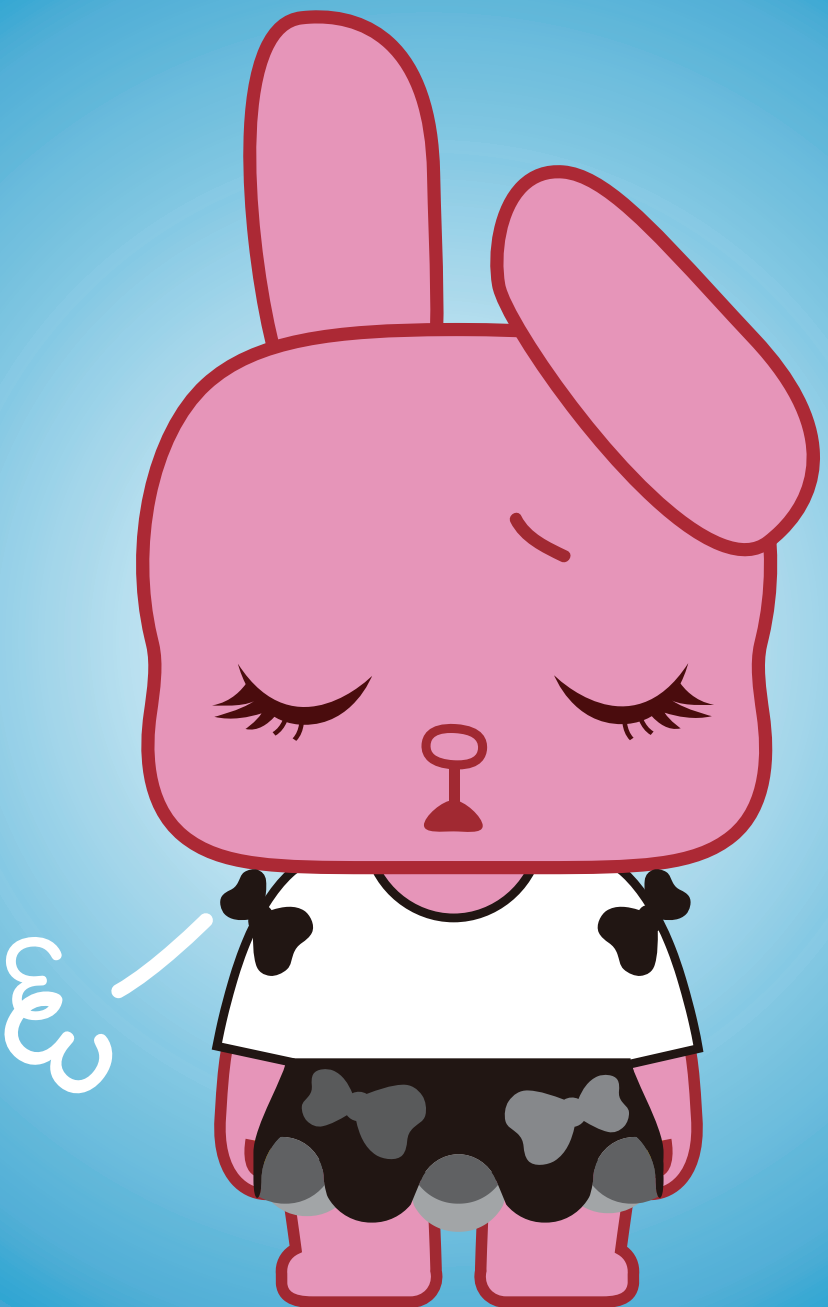
「わたしの名前を聞いて、リボンが  
どろしたのっ。」

空には、赤いフーサンと同じ色  
ふわふわ、ゆらゆら  
リボンが飛んでいるのが見えました。

っっ  
っ



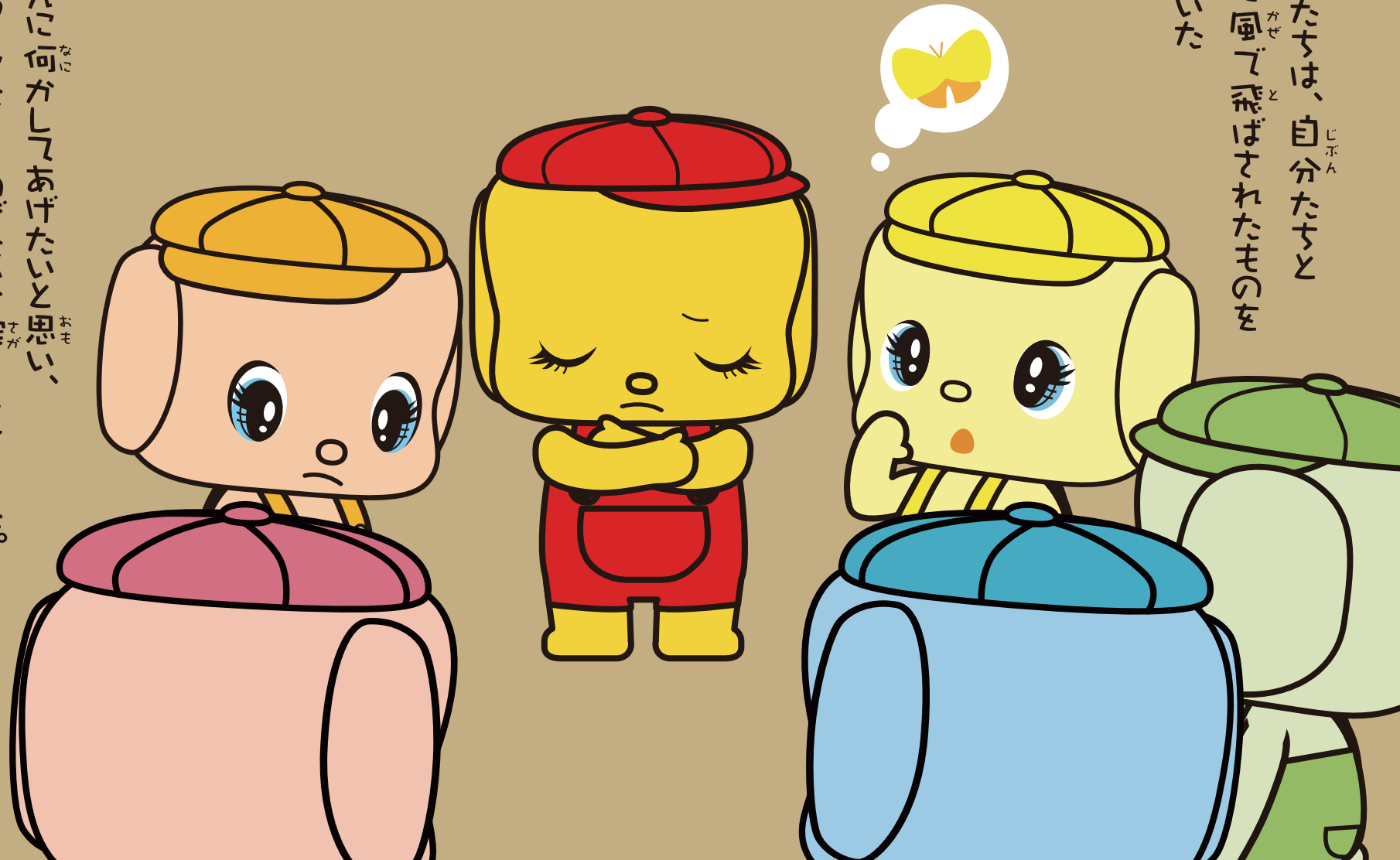
「あーあ、今日はおしゃべりしたい気分だったのにな。」



ウサギちゃんはじまんの長い耳をたたくて残念そうになっています。

フエキくんたちは、自分たちと  
同じように風で飛ばされたものを  
追いかけていた

ウサギちゃんに何かしてあげたいと思い、  
リボンの代わりになるものが無いか探してみました。





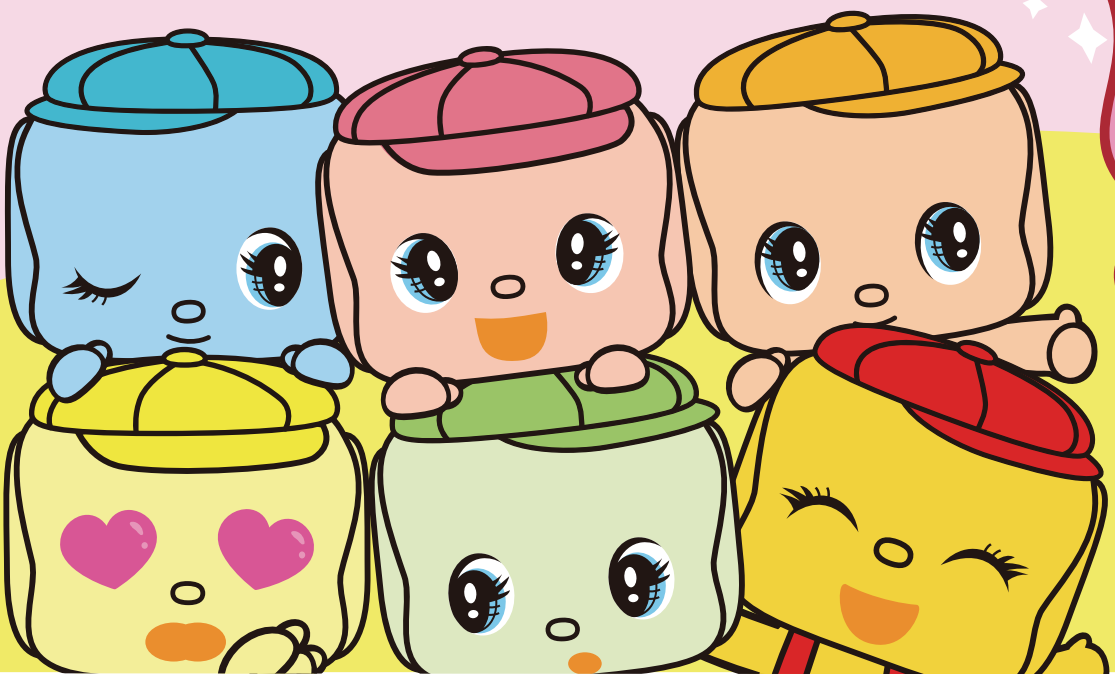
「そらだー、コレなんでもどうですか？」  
そらだーと、オレだーの、おまじない、  
まじない、と一緒におまじないをしました。

ウサギちゃんはリップクリームを受け取ると、さっとさびるに塗ってみました。



ぷっくりうるうる、  
かわいいさびるのびきあがり。

「わあーっつてもおしゃれな気分♪  
みんなありがとうとグーー」  
ウサギちゃんは、ハアッと笑顔になり、  
フエキくんたちをもつられて  
笑顔になりました。

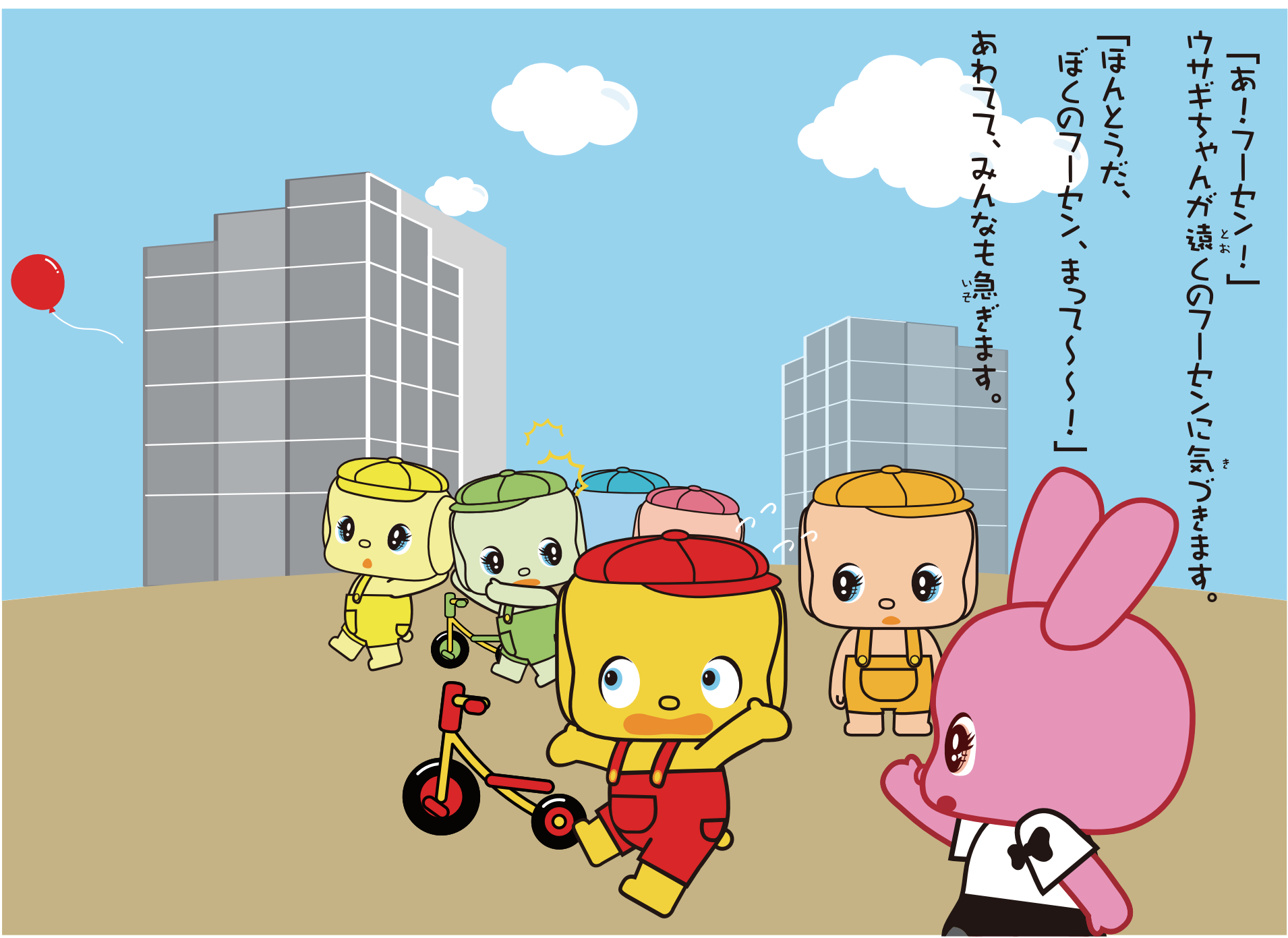


「おーっおーっおーっ」  
ウサギちゃんがかくかくおーっおーっおーっ。

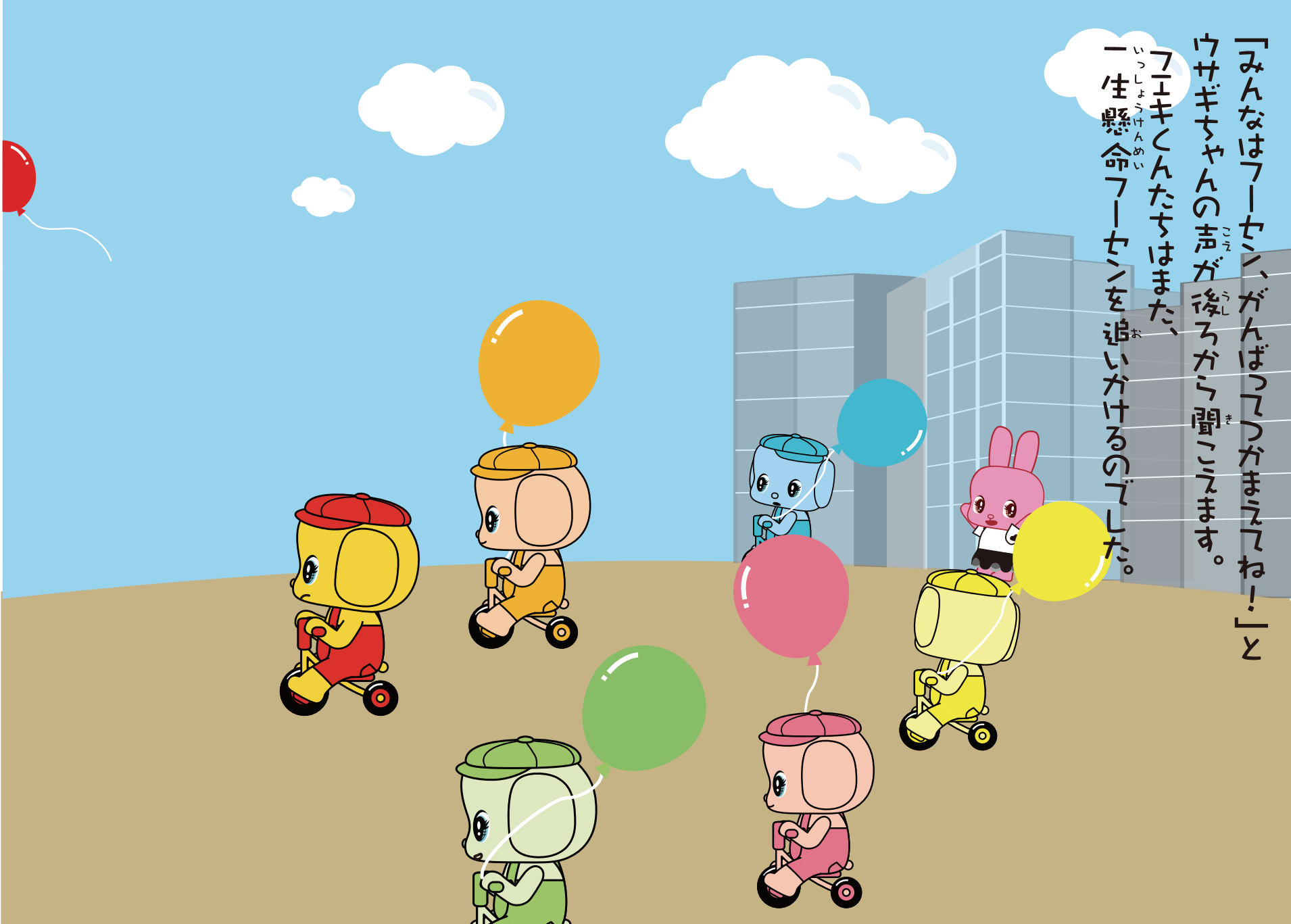
「ほんとうだ、」

「おーっおーっおーっ、おーっおーっおーっ」

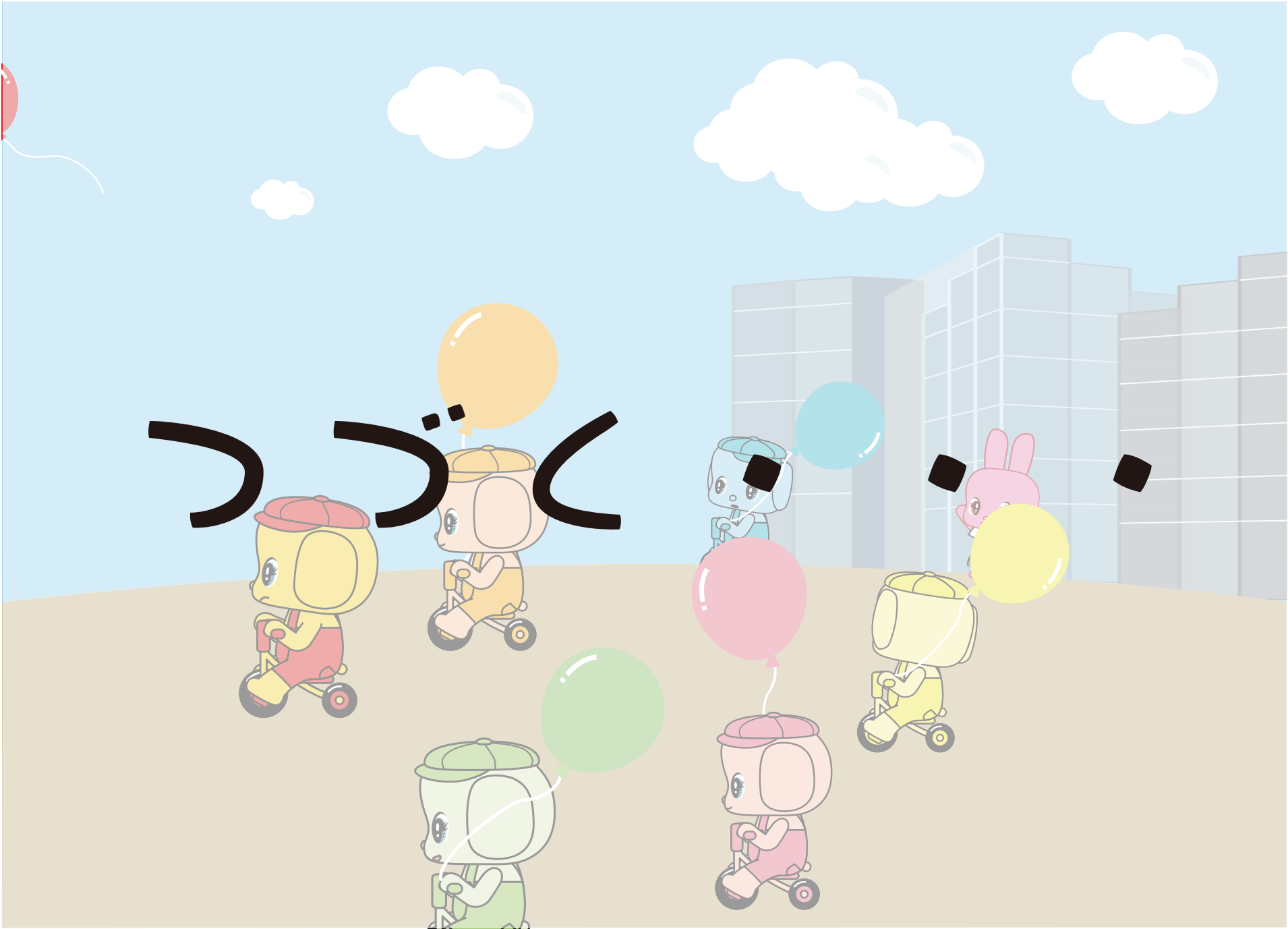
あわてて、みんなも急ぎます。







「みんなはフーセン、がんばってつかまえてね！」と  
ウサギちゃんの声(こゑ)が後ろ(うしろ)から聞(き)こえます。  
フエキくんたちはまた、  
一生懸命(いっしょうけんめい)フーセンを追(お)いかけるの(の)です。



うき